



例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4 F
- 会長 井辺 一章
- 幹事 堺 和信
- 会報委員長 田中 晶洋



白髭 田中 晶洋

<会長の時間>

昨日 20 日、会員増強委員会の会合へ出席させていただきました。新会員候補者へのアピール方法等、委員長の井上さんから新しい考え方を伺いました。16 日美濃加茂で開催された IM での、北川氏の講演でもありました通り、時代に応じ変化していく事も大事です。今までにない方法等で頑張ってくださいとお願いしました。会員皆様のご協力をお願いいたします。



それでは、10 月 16 日に開催されましたインターシティミーティングの報告をさせていただきます。初めて IM に参加させていただきましたがとても勉強になる有意義な 1 日でした。



ホストクラブは可児ロータリークラブ、会場はシティホテル美濃加茂で行なわれ、当クラブからは 13 名が参加しました。

第一部では可児ロータリークラブの奥村会長から歓迎の挨拶、長瀬ガバナー補佐の開会の挨拶を受け、地区委員、参加クラブの紹介がありました。

次に釧田ガバナーのあいさつの中でロータリーの精神、哲学についてのお話がありましたが、地区の運営のポイントはガバナー補佐がいかに周りの支援を引き出すか、またロータリーというところは最終的には人間関係、義理、人情、貸し借り、こういう世界であるとおっしゃられ、義理人情は人を思いやる心を西洋風にしたものがロータリーであるということをおっしゃられました。受けた恩は必ずお返しをしないと、私はそうとらえました。

<幹事報告>

◎ガバナーより

- ・次期、夏期派遣希望学生の内定通知 「萱垣 杏花」さん

◎高山市民部憲章推進協議会より

- ・高山市民憲章制定 50 周年記念式典の開催について (ご案内)
日時 11 月 14 日(月) 18:30 開会
会場 高山市民文化会館小ホール



<出席報告>

| 区分 | 出席 | Make-Up | 出席者数 | 会員数 | 出席率 |
|-----|------|---------|------|------|--------|
| 前々回 | 30 名 | 0 名 | 30 名 | 39 名 | 76.92% |
| 本日 | 33 名 | — | 33 名 | 39 名 | 84.62% |

<本日のプログラム>

萱垣 敬慈

IM の報告の前に少しお時間をいただきまして、先ほど幹事報告とニコニコ BOX でも紹介して頂きましたが、先日青少年交換の試験結果を内定という形でいただきました。ありがとうございます。今後皆様方に色々な形でお世話になります。何卒よろしくお願い致します。この場をお借りしてお願いとお礼を申し上げます。



I M 報告

今回の講演は「早稲田大学名誉教授の北川正恭」先生によります、地方創生とロータリークラブのかかわり方をテーマに、県議会議員、衆議院議員、県知事のご経験からとても貴重なお話を聞くことができました。

松尾芭蕉が残した「不易流行」という言葉を引用され、「流行」とはその時々に応じて変化してゆくもので正に政治はその流行の部分の担い、時代の要請に応じて時代にマッチした最高の価値を創り出す役目がある。勿論私たちの仕事の経営戦略や経営方針もこの「流行」に応じて現実対応していかなければならないという事をおっしゃって見えました。一方「不易」とは時代の新古を超越して不変なるもので、ロータリーはこの「不易」な部分で理想や良識を追求し活動している。昨今、東京都議会や、富山市議会の問題で騒がれていますが、地方の間違いを正していくのはロータリアンであると述べられ拍手が巻き起こる一幕がありました。成熟した社会における地方創生とは選挙で選ぶときには白紙委任ではなく選んだ責任がある。政治は現実であるから反対、賛成があるからこそ、ロータリアンはいろいろな反対があっても議論の中で良識をもって、みんなが善意を信頼して奉仕をしていく存在であって欲しいという事をおっしゃられました。



例会報告

第二部ではピアノとフルートによる情熱大陸の生演奏やマジックショーのアトラクションを挟みながらの宴席で、他のクラブの方々とも交流できとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

帰りのバスでは内田さんの横に座らせていただいたのですが、ロータリーについての心得といますか、心構えをご教授いただき、毎週金曜日昼の1時間会社を留守にして例会に出席できる体制にすることが、結果社員を成長させ会社を成長させることであり自分を成長させることである。会社も大きく成長させることも大事であるが、自分を成長させる場がロータリーであるという事を教えていただきました。今後肝に銘じて心がけていきたいと思えます。

遠藤 隆浩

可児クラブ主催のIMに美濃加茂に行ってきました。

北川元三重県知事の講演は東京都の問題、富山市の問題が続くなか、地方の政治・行政の構造を解りやすく説明していただき有権者としてこれからなにを考えていかなければならないのかということが非常によく理解できました。



懇親会は、コンパニオンも用意していただき、楽しいイリュージョンも見ることができ、ガバナーの活躍もあり大変お酒がすすみました。

私が考えるにロータリーの醍醐味は皆でバスにのり、普段会えないような方の講演を生で聞き、宴会をして親睦を深めることだと思います。新しい会員のかたに積極的に参加していただきたいです。

鴻野 幸泰

10月16日、IM(インターシティミーティング)がホストクラブ可児ロータリークラブの主催で、シティホテル美濃加茂にて行われまして。はじめにガバナー補佐 長瀬 隆 様による開会点鐘そして歓迎の言葉が可児ロータリークラブ会長 奥村 幸夫 様からありました。引き続きらガバナー補佐 長瀬 様の挨拶、そしてガバナー 帆田 廣喜 様の挨拶がありました。

講演会では講師の元三重県知事 北川 正恭 様が「地方創生とロータリークラブのかかわり方」のテーマでお話を聞かせていただきました。約70分間の講演の中でおっしゃられていたのは、これからの地方におけるロータリー活動に期待されていました。

IM実行委員長の可児ロータリークラブ梅田 一人 様の閉会の言葉で第一部が終わりました。

第二部の懇親会では講師の北川 様も出席されイリュージョンなどのアトラクションで楽しみました。

<ニコニコボックス>

●井辺 一章さん、堺 和信さん

●16日のIMの帰路で、突然のハプニングとは言え参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。会長・幹事として無事に帰って来られた事にホッとしておると共に、高山中央RCさんの友情に感謝いたします。この事も含め本日の報告よろしくお願いたします。

●昨晩行われた会員増強委員会では大変有意義な意見交換が出来ました。これが実となり開花します事を期待しております。井上委員長さんを始め委員の皆さんよろしくお願いたします。

●明日明後日に開催されます地区大会の出席をよろしくお願いたします。運営をお手伝いされる方々には大変ご苦勞をおかけしますがよろしくお願いたします。

●米澤 久二さん、遠藤 隆浩さん、鴻野 幸泰さん

先週日曜日IMに参加しました。素晴らしい講演会、楽しい懇親会と、とても充実した一日でした。帰りにハプニングがありましたが、井辺会長・堺幹事お疲れ様でした。大変お世話になりました。ありがとうございました。

●萱垣 敬慈さん

青少年交換の件で皆様には大変お世話になっています。10月2日に面接試験を受け内定の通知を頂きました。今後ご迷惑をおかけしますが何卒よろしくお願いたします。

●榎坂 純一さん

9月に台北東海RC青少年へ2回目の訪問をして来ました。例会終了後はお食事をご馳走になり大歓迎されました。とても良い経験になりました。次回は1月頃行こうと思っています。どなたか一緒にいかがでしょうか？

●古橋 直彦さん

結婚記念日においしいお菓子を頂きまして有難うございました。

●黒木 正人さん

高山陣屋大広間にて、ひだしんプロジェクトマップが11月14日まで行われています。時間は10時から3時半まで30分毎に上映されます。今回は飛騨高山の四季がテーマで国指定史跡の建物で最新の映像技術がお楽しみいただけます。ひだしんさるぼぼ倶楽部の会員の方はカード提示で無料入場できますし、広報たかやま10月1日号に高山市民入場無料券がついています。是非ご家族ともどもご覧いただけたらと思います。

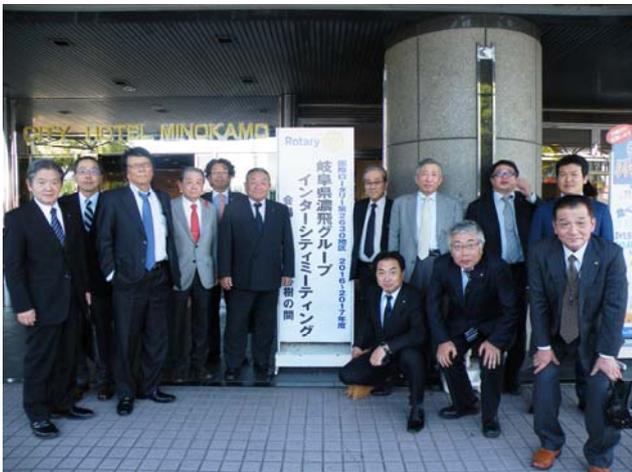
●下屋 勝比古さん

ソフトミニバレーボールの練習は木曜日夜8時から山王フラワーズさんとやっております。

●伊藤 松寿さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、山下 直哉さん、

田中 武さん、下屋 勝比古さん、松川 英明さん、高桑 光範さん、広島カープ黒田博樹投手(41)が今期限りの引退を表明。2年前、メジャーチームからの年俸20億オファーを断り広島カープに復帰。リーグ戦・クライマックス戦を優勝に導き日本シリーズ前に引退宣言。”男気!!黒田”かっこよすぎる

例会報告



座右の銘

伊藤 松寿
『水五訓 (みずごくん)』



お蔭様で今月1日をもって満68才となりました。来年は「古希」を迎えるという年齢になりました。古希ぐらいの歳になれば「座右の銘」があってもよさそうなものですが、気だけは若いつもりでいるので、それがありません。

そこで、父・伊藤松太郎がよく口にし、リーフレットに印刷し、みなさまに申し上げていた「水五訓 (みずごくん)」をご紹介します。(水五訓とは、水の性質になぞらえて人生のあるべき姿を説くというものです)

- 水五訓
1. 常に進路を求めてやまざるものは水なり
 1. 自ら活動し他を働かしむるものは水なり
 1. 障害に遇えば益々その勢いを増すものは水なり
 1. 自ら清くして他の汚れを洗い清濁併せ容るゝの雅量あるは水なり
 1. 注いでは大洋となり発しては蒸気となり、雲となり、雨となり雪と変じ霰と化し凍っては玲瓏たる鏡となり然もその性を失わざるものは水なり

座右の銘

挾土 貞吉
『おかげさま』



私は未熟者で優柔不断な所があり、座右の銘を此れ一点に絞れなく今日まで来てしまいました。ただその日その日を確実に「精一杯生きる」この事をモットーとし今日に至っています。時には「限界への挑戦」(無理出来ないと言わないで、出来る方法を考えよう)と言う前向きな思いで突き進みそれなりにクリアし、何とか「一意専心」、この道左官一筋頑張ってきた。

又ロータリーの会長をさせていただいた時に、これまた無理な目標に向かって事業計画を立て、皆さんの協力のおかげで達成でき、RI会長賞・地区広報賞の2つの大賞を頂いたあの喜びはあの時、我が座右の銘であった「念ずれば花ひらく」その言葉どおりとなり満足しました。ロータリーとは我が人生道場、と口に出来る大きな体験でありました。

又今も西クラブの若い素晴らしいメンバー達とお付き合いが出来、楽しく暮らせるのは「おかげさま」の一言に尽きます。有難いことです。